

1 酒肆春鹿修理事業

- ・ 建築年 昭和 13 年
- ・ 用途 店舗
- ・ 構造 木造

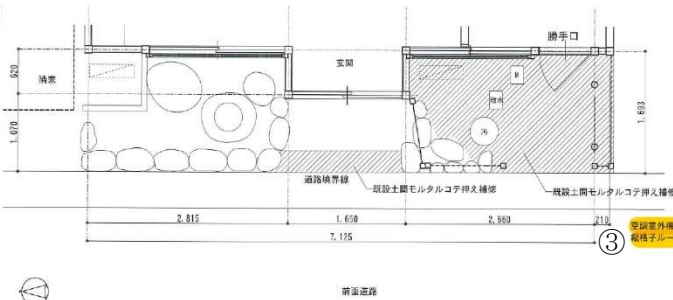
< 現況 >



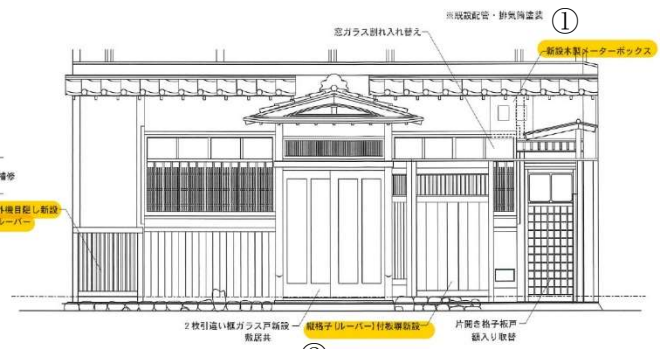
< 計画 >

確認箇所

- ① 室外機目隠し格子
- ② 格子付き板塀
- ③ メータボックス目隠し



改修 1 階 平面図 1 : 50



改修 1 階 立面図 1 : 50

< 意見 >

特に意見はありません。

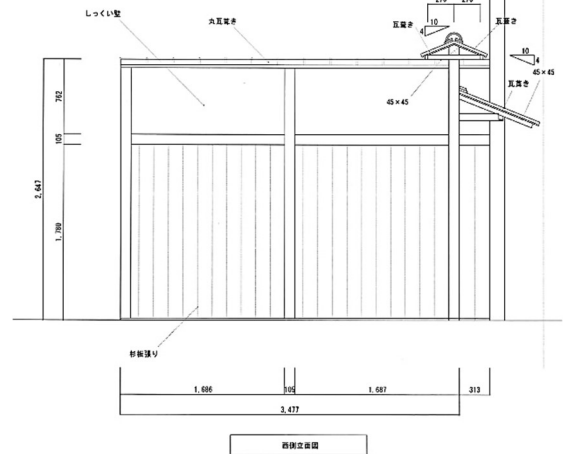
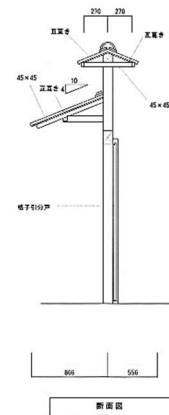
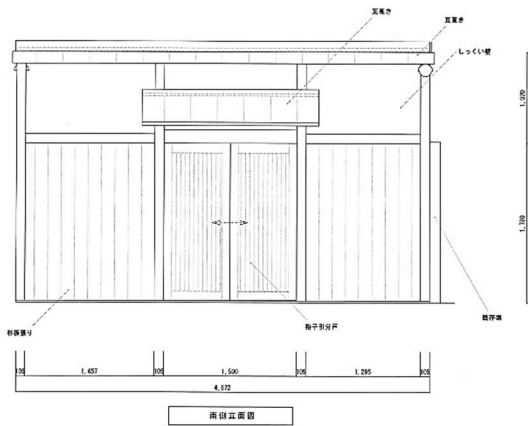
2 奈良市東寺林町 28 番 1 塀新築修景事業

- ・新築 (塀)
- ・構造 木造

<現況>



<計画> 確認箇所：全体



<意見>

①基礎石は設けますか？

②伝統的な高塀の庇の勾配は4寸ではなく3寸勾配以下である。

③腕木と出桁のおさまりが伝統的ではないので、伝統的なおさまりとしたほうが良い。

④前面道路が狭い場合は、高さの低い高塀が多い。高さを腕木下端で 2350mm 程度とし、全体的に低くしたほうが良い。

⑤④の高さ変更に合わせて、腰板の高さを再検討してください。

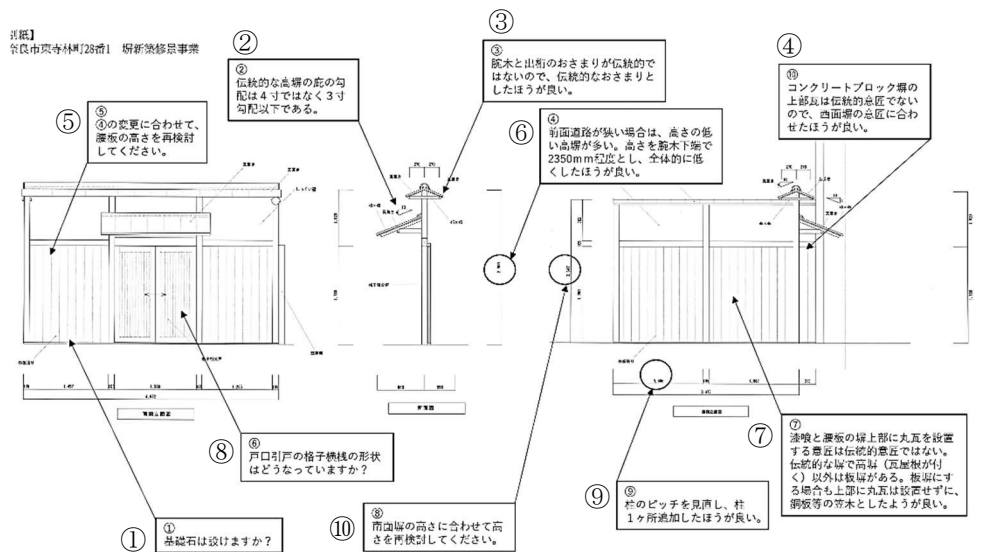
⑥戸口引戸の格子横棧の形状はどうなっていますか？

⑦漆喰と腰板の塀上部に丸瓦を設置する意匠は伝統的意匠ではない。伝統的な塀で高塀（瓦屋根が付く）以外は板塀がある。板塀にする場合も上部に丸瓦は設置せずに、銅板等の笠木としたほうが良い。

⑧南面塀の高さに合わせて高さを再検討してください。

⑨柱のピッチを見直し、柱1ヶ所追加したほうが良い。

⑩コンクリートブロック塀の上部瓦は伝統的意匠ではないので、西面塀の意匠に合わせたほうが良い。



<伝達>

①は、基礎石を設けると回答あり。

⑥は、横格子を設けるが意匠は未定と回答あり。

その他、全体の高さや庇勾配等の変更を検討。図面の再提出があり内容を確認した。

3 小林邸修景事業

< 現況 >

- ・ 建築年 不明
- ・ 用途 店舗
- ・ 構造 木造



< 計画 >

確認箇所

- ① 室外機目隠し
- ② 出格子
- ③ 戸口建具



< 意見 >

特に意見はありません。

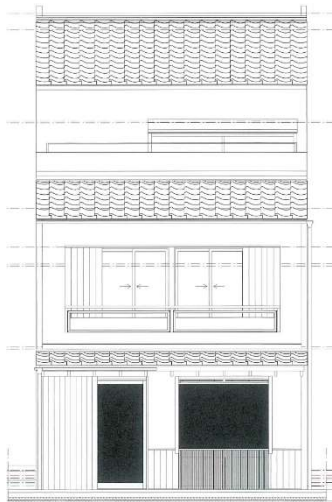
4 西寺林サロン新築修景事業

- ・新築
- ・用途
- ・構造 木造

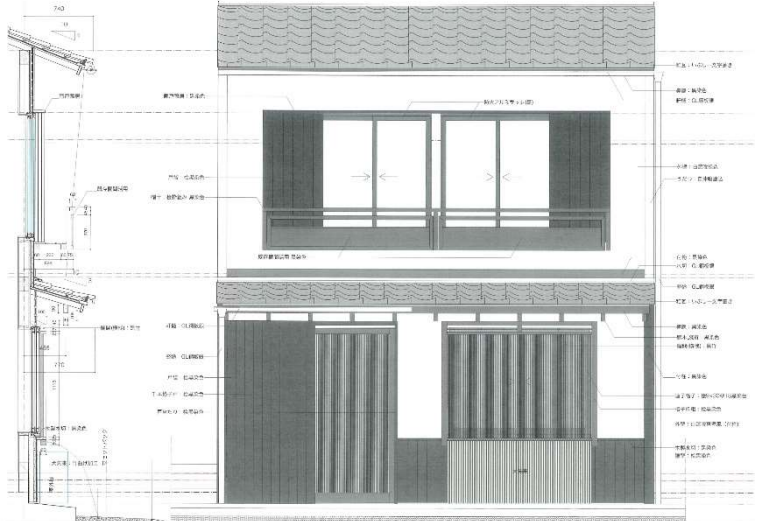
<現況>



<計画> 確認箇所：全体



北立簡図 (ファサード)



<意見>

①奈良町の伝統的な格子で9mm幅のものありません。幅が細く細かい格子であれば18mm~21mmで間隔が9mm程度のは、奈良町でも確認できています。

②奈良町の伝統的な外壁は1階が真壁です。建具が付く位置には柱が入ります。

③軒庇の腕木の大きさと間隔・出桁の大きさが伝統的ではありません。腕木は基本的に柱位置に付きます。

④伝統的な奈良町家では軒先に鼻隠しを設けていません。

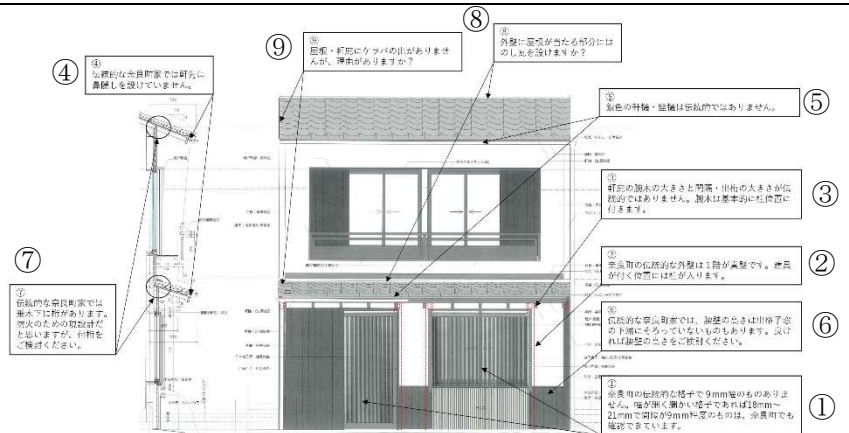
⑤銀色の軒樋・堅樋は伝統的ではありません。

⑥伝統的な奈良町家では、腰壁の高さは出格子窓の下端にそろっていないものもあります。良ければ腰壁の高さをご検討ください。

⑦伝統的な奈良町家では垂木下に桁があります。防火のための現設計だと思いますが、付桁をご検討ください。

⑧外壁に屋根が当たる部分にはのし瓦を設けますか？

⑨屋根・軒庇にケラバの出がありませんが、理由がありますか？



<伝達>

⑧⑨は検討すると回答あり。

その他、おさまりや意匠も上記意見を踏まえて再検討すると回答あり。